

令和6年度 第11回豊田市藤岡地域会議 議事録

開催日時	令和7年3月13日（木）	開会	閉会
		18時58分	20時25分
会 場	藤岡交流館 多目的ホール		
出席者	委 員 14名出席（欠席：松田委員、山本委員）		
	藤岡支所 山田支所長、佐藤副支所長、市川副主幹、成瀬担当長、内野近藤市議		
次 第	1 「豊田市民の誓い」 2 開 会 藤岡地域会議会長あいさつ 3 議 事 （1）今後の具体的な取組項目と実施主体の検討について 4 報 告 （1）委員からの報告（各団体の活動など）		

■ 議事（要約）

3 議事

（1）これまでの地域での取組内容整理及び明確化

前回は、平成25年（藤岡まちづくりビジョン策定時）から令和6年までの地域で実施された取組について整理した。今回は、整理した取組内容をもとに、「今後継続される取組・今後実施するべき取組」と「取組の実施主体は誰か」について、各グループで検討した。

【グループの検討内容】

グループ	基本方針	取組項目
1	ひとりひとりが夢を持って活躍できる ふれあいのまち（教育）	（1）地域を担う人づくり （2）夢を持てる生きがいづくり
2	美しい里山に囲まれ、地域で支えあう 安心安全なまち（環境）	（1）自然環境の保全 （2）生活環境の充実
3	地域資源を活かした、持続可能な 活力あるまち（地域活性化）	（1）地域資源の活用 （2）過疎対策（定住対策）

【グループの担当委員】

グループ	委員名
1	吉田副会長、田中委員、武田委員、松田委員、米丸委員
2	浅山委員、岡崎委員、杉原委員、田口委員、山本委員
3	島田会長、尾崎委員、清野委員、中條委員、永井委員、山内委員

【主な意見】

グループ 1

- ・わくわく事業団体同士の情報共有を図れるとよい。
- ・わくわく事業の目的や目標に数値を入れて明確化できるとよい。
- ・農産物を藤岡地区の各地で販売できるような体制ができるとよい。週末に藤岡を訪れると各地で農産物が売られているというような特徴を持った地区にしたい。
- ・人材バンクとして、ボランティア集団のネットワークのような体制を設けたい。

グループ 2

- ・折平山から三国山登山道の開拓・整備をわくわく事業団体でできないか。その他、環境整備等の活動もわくわく事業団体に継続して実施して欲しい。
- ・防犯カメラ等の設置については、自治区が申請する。防災、防犯活動は各自治区で実施している。
- ・にぎわい創出として、高齢者が集まれるサロンのような企画ができるとよい。

グループ 3

- ・石畳ふれあい広場に地元を巻き込んで、より大きな観光資源にできるとよい。
- ・「加茂の学び舎くん」を各地域イベントに呼び、地域住民の目に触れる機会を増やしていけるとよい。
- ・わくわく事業が継続される仕組みづくりをしていかなければならない。
- ・加茂丘高校でイベントができないか（例：小中学校と合同の体育祭や地域団体を巻き込んだ文化祭など）。

【今後の開催予定】

第 1 回地域会議（4 月 2 4 日（木）午後 7 時から藤岡交流館 多目的ホール）